

Project	地域協働専攻 地域環境科学グループ
	C05

はこだてエコライフ推進プロジェクト

メンバー	[学 生] 梅田 賢吾/姫野 俊祐/今野 紘希 阿部 寿爽/齋藤 貴大/高橋 菜楠 [担当教員] 松浦 俊彦
------	--

【背景】

環境問題についてエコの視点から自分たちに出来ることを考えていく。

【目的】

自分たちがエコライフを理解し、地域の方々や学生に発信していく。

【概要】

- ・大森浜の海浜清掃の企画・実施
- ・函館市リサイクルセンターの見学
- ・地球温暖化勉強会
- ・はこだてエコライフ展2023への出展
- ・ペットボトルキャップ、ラベルの回収

【プロセスと成果】

前期は大森浜の海浜清掃と函館市リサイクルセンターの見学を行った。自分たちが最初エコライフについて学ぶ必要があると考えたため、プロジェクトメンバー全員で函館市が行っているエコライフについて調べ、函館市役所の方にも大学に来てもらい話をしていただいた。その結果ゴミの問題を知ったため、大森浜の海浜清掃を企画・実施した。これにより、大森浜に落ちているゴミの量を目の当たりにし、ゴミを分別してきちんと捨てる大切さを知ることができた。続いて、函館市リサイクルセンターを見学し、函館市でのゴミの処理に関する問題点について学んだ。これにより、函館市が行っているエコライフについて深く学ぶことができたとともに、自分たちが今後環境問題に対してどのように取り組んで行けば良いのかを明確にすることができた。

後期はエコライフについて地域に発信するために、「はこだてエコライフ展2023」への参加・出展、および学内でのペットボトルキャップ・ラベル回収箱の設置を行った。「はこだてエコライフ展2023」では、自分たちも参加することでエコライフの大切さを再確認することができた。ペットボトルキャップ・ラベル回収箱の設置では、12/19～1/16にかけてキャップ985個ラベル330個の回収に成功し、キャンパス内の人に対して、分別を行うきっかけや重要性を知ってもらうことができた。



【大森浜海岸清掃の様子】



【エコライフ展の様子】

【総括と反省・今後の課題】

前期は、大森浜の海浜清掃、地球温暖化勉強会、函館市リサイクルセンターの見学を行うことにより、プロジェクトメンバー全員がエコライフについて詳しく理解することができた。前期の反省としては、エコライフについて理解することにとどまり、周りに発信していくことができなかったという点があげられた。

後期は、前期で学んだ知識を活かして、地域にエコライフの重要性を伝える活動と学内でできるエコライフ活動に取り組んだ。どちらの活動でも、想定していたよりも多くの人々にエコライフ活動を伝えることができたものの、今回の手段では情報を発信できる範囲に限度があると感じた。

今後の課題としては、「エコライフについてより多くの人々に知ってもらえるようにする」や「ラベルとキャップの分別の重要性を知ってもらう」などがあげられる。そこで、今後はSNS等を積極的に利用して、情報発信・情報収集をしていきたいと考えている。



【回収したペットボトルキャップとラベルの様子】 【ペットボトルキャップ・ラベル回収箱設置の様子】

【地域からの評価】

「はこだてエコライフ展2023」への出展、「地域プロジェクト成果発表会」を通して、地域の方々にエコライフについて知ってもらうことができた。地域の方々の意見としては、「リサイクルにおいて、分別の有無で買い取り価格が変化することは印象的であり、分別の重要性を広めるという点において良い内容であった」や「学内でのペットボトルキャップ・ラベルの回収活動は、学生がエコライフについて考えるきっかけとなり、やがて地域におけるエコ活動の貢献に繋がるという点で評価できる」、「エコライフ展での出展を通して、市民の皆様の地球温暖化防止への意識を高めるとともに、身近な生活におけるエコな暮らし方について啓発することができたのではないかな」などの意見があった。

また、「ペットボトルキャップ・ラベルの回収活動を行う際には、回収箱に分別することの重要性がわかる記載があると良いと思う」や「海浜清掃やリサイクルセンター、地域の環境問題の実状について、もっと発信していくことができれば良いのではないかな」といった意見も寄せられた。

【その他】

年間スケジュール

■前期

- 4月中旬 前期・後期活動計画打ち合せ
- 6月10日 大森浜の海浜清掃
- 6月27日 函館市リサイクルセンターの工場見学
- 7月上旬 前期の振り返り・中間成果発表資料の作成
- 7月22日 中間成果発表会

■後期

- 10月初旬 はこだてエコライフ展2023の事前打ち合わせ
- 11月中旬 ポスター制作
- 11月25日 はこだてエコライフ展2023への出展
- 12月中旬 ペットボトルキャップ・ラベル回収箱の作製・設置
- 12月下旬 後期成果発表資料の作成
- 2月3日 後期成果発表会